

Cisco Aironet ワークグループブリッジに関する FAQ

目次

[はじめに](#)

[Workgroup Bridge とは何ですか。](#)

[最新ソフトウェアはどこからダウンロードできますか。](#)

[Workgroup Bridge でのソフトウェアのアップグレード方法を教えてください。](#)

[Workgroup Bridge の管理方法を教えてください。](#)

[Workgroup Bridge にワイヤレスクライアントを関連付けることはできますか。](#)

[Workgroup Bridge で設定を保存する方法を教えてください。](#)

[Workgroup Bridge を他の IEEE 802.11b デバイスと一緒に使用できますか。](#)

[Workgroup Bridge は、どのようなデバイスと関連付けることができますか。](#)

[Workgroup Bridge の周波数を教えてください。](#)

[Workgroup Bridge の無線リンクでデータのセキュリティを確保する方法を教えてください。](#)

[WGB が上流に位置する AP と通信するときに使用できる EAP の認証タイプを教えてください。](#)

[WEP キーとは何ですか。](#)

[Workgroup Bridge の一般的な通信範囲はどの程度ですか。](#)

[Workgroup Bridge のイーサネットポートの速度はどの程度ですか。](#)

[Workgroup Bridge の無線周波リンクに対する干渉の発信元として考えられるものは何ですか。](#)

[Workgroup Bridge を工場出荷時の設定に戻す方法を教えてください。](#)

[Workgroup Bridge \(WGB \) はどのようなセキュリティ機能をサポートしていますか。](#)

[Workgroup Bridge はデバイスを何台までサポートできますか。](#)

[Workgroup Bridge の一般的な適用例にはどのようなものがありますか。](#)

[Workgroup Bridge は、屋外 \(建物間 \) シナリオでブリッジとして使用できますか。](#)

[WGB として機能する自動 IOS AP にはどのようなものがありますか。](#)

[LWAPP AP は、WGB をサポートしていますか。](#)

[WGB \(350 シリーズ \) のデフォルト設定を教えてください。](#)

[AP 340 は、WGB に変換できますか。](#)

[340 WGB はブリッジまたは AP に変換できますか。](#)

[WGB のデフォルトの IP アドレスを教えてください。](#)

[IPSU から WGP に IP アドレスを割り当てるには、IPSU をインストールした PC を Bridge と同じサブネットに置く必要がありますか。](#)

[ブリッジ ループとは何ですか。ブリッジ ループはどのような原因で発生しますか。](#)

[Staleout 時間設定の用途を教えてください。](#)

[350 シリーズの WGB にはどのようなアンテナ オプションがありますか。](#)

[WGB350 の電源仕様を教えてください。](#)

[アクセスポイントに関連付けられた Workgroup Bridge にアクセスできません。これは、なぜですか。](#)

[350 WGB ではどのような変調方式がサポートされていますか。](#)

350 シリーズの WGB でカバーされている一般的な通信範囲はどの程度ですか。

WGB ではどのようなリモート設定オプションがサポートされていますか。

AP1200 を WGB として使用しています。AP 上の 2 基のアンテナを WGB モードで動作させることはできますか。

AP を WGB として設定して、信号受信に基づいて親アクセスポイントとの間で動的にスイッチを切り替える方法を教えてください。

関連付けを試みるために WGB で設定できるアクセスポイントの最大数を教えてください。

デフォルトでは、AP は WGB をどのように扱いますか。このデフォルトステータスを変更することはできますか。

1 台の AP に WGB を何台関連付けることができますか。

Workgroup Bridge の上面にある LED は何を意味していますか。

Workgroup Bridge にエンドデバイスを接続するにはどのようなイーサネットケーブルを使用する必要がありますか。

Workgroup Bridge が関連付けられているかどうかは、どのようにしてわかりますか。

WGB は、高速セキュア ローミングをサポートしていますか。

WGB は、複数の VLAN をサポートしていますか。

VLAN のランキングは、Workgroup Bridge を介してサポートされますか。

Lightweight Access Point Protocol (LWAPP) 環境で Workgroup Bridge として使用できる方法はありますか。

関連情報

概要

このドキュメントは、Cisco Aironet Workgroup Bridge に関して、よくある質問について説明します。

Q. Workgroup Bridge とは何ですか。

A. Workgroup Bridge (WGB) は、イーサネット対応デバイスにワイヤレス インフラストラクチャ接続を提供できる小型のスタンドアロン ユニットです。ワイヤレス ネットワークに接続するために無線クライアント アダプタを備えていないデバイスは、イーサネット ポート経由で WGB に接続できます。WGB は、ワイヤレス インターフェイス経由でルート AP に関連付けされます。この方法で、有線クライアントは無線ネットワークにアクセスできます。WGB は 10Base-T コネクタを使用する、標準のイーサネット ポートを介してハブに接続します。

Q. 最新ソフトウェアはどこからダウンロードできますか。

A. Cisco Aironet の機器を最良の状態で作動させるには、すべてのコンポーネントに最新バージョンのソフトウェアをロードすることを推奨します。最新のソフトウェアとドライバは [Cisco ワイヤレスソフトウェアセンター](#) からダウンロードできます。

Q. Workgroup Bridge でのソフトウェアのアップグレード方法を教えてください。

A. 手順は、アップグレード対象のファームウェア バージョンおよびアップグレードを行う WGB モデルによって異なる場合があります。最新のファームウェア バージョン 8.89 で 350 シリーズの WGB をアップグレードする場合は、「[ブリッジ ファームウェアのアップグレード](#)」で説明している手順を実行します。他のすべての vxworks のファームウェア バージョンについては、各ファームウェア バージョンの [リリース ノート](#) で該当する手順を参照してください。

Q. Workgroup Bridge の管理方法を教えてください。

A. 340 シリーズの Workgroup Bridge には設定するコンソール コネクタがありません。このような場合、次のいずれかの方法に従って Workgroup Bridge を設定してください。

- IP セットアップ ユーティリティ (IPSU) を PC にインストールして起動し、Workgroup Bridge で IP アドレスおよびサービス セット識別子 (SSID) を設定します。IPSU は、[Cisco ダウンロード サイト \(登録ユーザー専用 \)](#) で入手できます。
- デフォルトでは、Workgroup Bridge の SSID は tsunami で、DHCP を使ってワイヤレスリンク上の IP アドレスの取得を試みます。Wired Equivalent Privacy (WEP) はデフォルトでオフになっています。IP アドレスがすでに設定されている場合は、その IP アドレスに Telnet 接続を行うか、そのアドレスを参照することができます。これらのデフォルト設定は、ファームウェアバージョン 8.89 を実行している 350 シリーズの WGB に適用されます。
- DHCP で IP アドレスを取得できなかった場合は、小さなリセット穴にペーパー クリップなどの先のとがった物を差し込んで WGB を工場出荷時のデフォルトにリセットし、デフォルトのアドレス 192.168.200.1 を使ってアクセスできます。

Q. Workgroup Bridge にワイヤレス クライアントを関連付けることはできますか。

A. できません。Workgroup Bridge 自体がワイヤレス クライアントです。有線クライアントをワイヤレス バックボーンに接続するために使用します。

Q. Workgroup Bridge で設定を保存する方法を教えてください。

A. 設定変更を保存する明示的な方法やコマンドはありません。ユーザが行う変更は、パラメータを設定または変更するたびに不揮発性フラッシュ メモリに自動的に保存されます。これで、電源障害または計画的な停電中にも設定は確実に維持されます。ほとんどの設定は、コマンドが実行されるとすぐに有効になります。すぐに有効にならない設定は、コマンド情報に記載されていません。

Q. Workgroup Bridge を他の IEEE 802.11b デバイスと一緒に使用できますか。

A. できません。Workgroup Bridge は、シスコの機器とのみ一緒に動作します。Workgroup Bridge は Cisco AP または Cisco Bridge とだけ通信します。他の Cisco Aironet ワイヤレス ネットワーキング デバイス (他の WGB も含む) や他のベンダー製造のデバイスとは通信しません。Workgroup Bridge は、事実上独自のビーコンである Aironet 拡張機能を使用して、Cisco AP として機能します。これは Cisco 独自のデバイスです。

Q. Workgroup Bridge は、どのようなデバイスと関連付けることができますか。

- Workgroup Bridge からアクセス ポイント (AP)
- Workgroup Bridge からブリッジ (AP モードで)
- Workgroup Bridge からベースステーション (AP モードで)
- Workgroup Bridge からリピータ モードの AP (リピータがルート AP に関連付けられている場合)

Q. Workgroup Bridge の周波数を教えてください。

A. Workgroup Bridge は 2.4 GHz 周波数帯の 11 チャンネルの 1 つで送受信します。この周波数は公共周波数です。無線の仕様の詳細は、「[無線の特性](#)」を参照してください。

Q. Workgroup Bridge の無線リンクでデータのセキュリティを確保する方法を教えてください。

A. 無線リンクで送信されるパケットのペイロードを暗号化する機能である Wired Equivalent Privacy (WEP) を有効にします。

ソフトウェアバージョンの場合 (8.8)、Light Extensible Authentication Protocol (LEAP) クライアントとして Workgroup Bridge を追加できます。Workgroup Bridge は Access Control Server (ACS) の認証を受けます。詳細については、製品の設定ガイドの「[設定メニューの使用](#)方法」を参照してください。

Q. WGB が上流に位置する AP と通信するとき使用できる EAP の認証タイプを教えてください。

A. すべての AP の IOS WGB は、上流に位置する AP による認証に LEAP、EAP-FAST、EAP-TLS を使用できます。EAP-FAST は、EAP-FAST の内部 EAP タイプとして PEAP をサポートできるため、AP1130 および AP1240 では PEAP のサポートは必須ではありません。PEAP をサポートしないことが問題となるのは、AAA サーバが PEAP だけをサポートし、EAP-FAST または EAP-TLS をサポートしていない場合だけです。ただし、このシナリオでは、EAP-FAST でローカル オーセンティケータを使用できます。

Q. Wired Equivalent Privacy (WEP) キーとは何ですか。

A. Wired Equivalent Privacy (WEP) キーは、ユーザがデータの暗号化または解読に使用するために定義した文字列です。

Q. Workgroup Bridge の一般的な通信範囲はどの程度ですか。

A. 一般的な通信範囲は、必要なデータ レート (帯域幅)、アンテナのタイプ、アンテナ ケーブルの長さ、伝送を受信するデバイスなど、多くの要因によって異なります。最適なインストール条件下では、最大 90 m (300 フィート) の範囲をカバーできます。

Q. Workgroup Bridge のイーサネット ポートの速度はどの程度ですか。

A. このブリッジのイーサネット ポートでは、10baseT RJ-45 コネクタで 10 Mbps をサポートしています。また、サポートしているのは半二重方式のみです。

Q. Workgroup Bridge の無線周波リンクに対する干渉の発信元として考えられるものは何ですか。

A. 2.4 GHz のコードレス電話、正しくシールドされていない電子レンジ、他社製のワイヤレス装置など、さまざまな装置からの干渉が考えられます。警察のレーダー、電気モーター、および機械の中の可動金属部品なども干渉を起こす場合があります。詳細については、「[無線周波数による通信に影響を及ぼす問題のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

Q. Workgroup Bridge を工場出荷時の設定に戻す方法を教えてください。

A. 350 シリーズの WGB を工場出荷時の設定にリセットする方法はいくつかあります。

Telnet を使用して WGB に接続している場合は、コマンド **Telnet** と WGB の IP アドレスを入力します。VxWorks のメインメニューから [Diagnostics] オプションを選択します。[Diagnostics] で、[Defaults] を選択します。[Defaults] オプションを選択すると、ブリッジは工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。ブリッジは、現在保存されている設定を消去し、restart コマンドを実行します。

選択した部分だけをリセットするには、[Diagnostics] メニューの [Reset] オプションを選択します。3 つのエントリ オプションがあります。

- **ident_save** : IP アドレスを除くすべての設定をデフォルトに設定します。
- **radio_default** : 無線設定のみデフォルトに設定します。
- **filter_default** : フィルタ情報のみデフォルトに設定します。

DHCP で IP アドレスを取得できなかった場合は、小さなリセット穴にペーパー クリップなどの先のとがった物を差し込んで WGB を工場出荷時のデフォルトにリセットし、デフォルトのアドレス 192.168.200.1 を使ってアクセスできます。

Web GUI を使用して、350 シリーズの WGB を工場出荷時のデフォルトにリセットすることもできます。Web ブラウザを開き、[Address] フィールドに WGB の IP アドレスを入力します。WGB のメインページで、[Allow Config Changes] を選択します。[Diagnostics] をクリックします。

WGB を工場出荷時のデフォルト値にリセットするための複数の項目と対応する値の列を掲載したページが表示されます。これらの項目で、[Return to default configuration] を選択して、WGB 工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

[ident_save:]、[radio_default:]、[filter_default:] という 3 つの値が [Default parts of the configuration] という項目に対応しています。これらの値の 1 つを選択すると、選択した部分だけをリセットできます。

Q. Workgroup Bridge (WGB) はどのようなセキュリティ機能をサポートしていますか。

A. WGB デバイス上の最新の WGB のファームウェアは次の機能をサポートしています。

- 40 ビットおよび 128 ビット Wired Equivalent Privacy (WEP)
- キー ハッシュ
- Message Integrity Check (MIC)
- 802.1x プロトコル草案 10

すべてのアクセス ポイント (AP) IOS WGB (WGB として機能する AP) は Lightweight Extensible Authentication Protocol (LEAP)、EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) または EAP-Transport Layer Security (EAP-TLS) をサポートして、上流に位置する AP による認証を受けます。EAP-FAST は、EAP-FAST の内部 EAP タイプとして PEAP をサポートできるため、P1130 および AP1240 では Protected EAP (PEAP) のサポートは必須ではありません。PEAP をサポートしないことが問題となるのは、AAA サーバが PEAP だけをサポートし、EAP-FAST または EAP-TLS をサポートしていない場合だけです。ただし、このシナリオでは、EAP-FAST でローカル オーセンティケータを使用できます。これらは Wi-Fi Protected Access (WPA) もサポートします。

Q. Workgroup Bridge はデバイスを何台までサポートできますか。

A. Workgroup Bridge は、有線イーサネットのセグメントで最大 8 つの MAC アドレスをサポートします。1200 シリーズのアクセス ポイントを Workgroup Bridge として動作させる場合は、イーサネット側で 254 台のクライアントを処理できます。ただし、この WGB モードの AP が関連付けられているルートブリッジまたは AP に他のワイヤレスクライアントが関連付けられていないことが前提となります。

AP を WGB モードで動作させる場合、AP はクライアントレベルで関連付けを行いますが、これは真のブリッジではないということなので注意が必要です。したがって、ユーザを少人数または適切な数に制限することが、常に推奨されます。

Q. Workgroup Bridge の一般的な適用例にはどのようなものがありますか。

- 有線ゲストに接続を提供するワイヤレスバックボーンを備えたホテル
- ワイヤレスバックボーンに接続する内蔵イーサネットアダプタ搭載のプリンタ
- 有線のみクライアントへのワイヤレスインフラストラクチャの拡大
- 有線のみ学生用ラップトップも使用できるワイヤレス対応の教室

Q. Workgroup Bridge は、屋外 (建物間) シナリオでブリッジとして使用できますか。

A. はい。Workgroup Bridge はワイヤレスクライアントのように扱われる点に注意してください。別の Workgroup Bridge に関連付けることはできません。AP との接続時は、理想的な状況下 (ラインオブサイト、アンテナなど) での距離は約 1.6 キロ (1 マイル) に制限されます。

Q. WGB として機能する自動 IOS AP にはどのようなものがありますか。

A. AP1100、AP1130、AP200、AP1240、および BR1310 はすべて WGB 動作モードをサポートします。AP350 および BR1400 は、WGB をサポートしていません。

Q. LWAPP AP は、WGB をサポートしていますか。

A. WGB の機能は、LWAPP AP ではなく、自動 IOS AP のみで実装されます。

Q. WGB (350 シリーズ) のデフォルト設定を教えてください。

- Radio Network Name : tsunami
- WEP Encryption Key : 3031323334353637383930313233
- Network Type : Infrastructure
- Data Rate : Auto
- Encryption : Enabled
- Authentication Type : Open
- Encryption : 128-bit Encryption
- Association : Mixed Cells Allowed

Q. AP 340 は、WGB に変換できますか。

A. できません。AP340 では、WGB として動作するための機能はサポートされていません。

Q. 340 WGB はブリッジまたは AP に変換できますか。

A. いいえ。340 WGB は AP やブリッジに変換できません。340 WGB は VxWorks を実行し、新しい Cisco IOS 製品 (br1310 など) は、WGB、ルート/非ルート ブリッジ、AP 機能を改良しています。

Q. WGB のデフォルトの IP アドレスを教えてください。

A. WGB を工場出荷時のデフォルトに復元すると、IP アドレス 192.168.200.1 が割り当てられます。

Q. IPSU から WGP に IP アドレスを割り当てるには、IPSU をインストールした PC を Bridge と同じサブネットに置く必要がありますか。

A. ありません。IPSU は IP マルチキャストを使用するため、IPSU を実行しているコンピュータがブリッジとは異なるサブネットにある場合も、IPSU はブリッジの IP アドレスと SSID を設定できます。

Q. ブリッジ ループとは何ですか。ブリッジ ループはどのような原因で発生しますか。

A. Workgroup Bridge が有線 LAN に接続され、同じ LAN のアクセス ポイントと通信する場合、ブリッジ ループと呼ばれるネットワークの問題が発生する可能性があります。ブリッジ ループを回避するには、設定後すぐに有線 LAN から Workgroup Bridge を切断してください。ブリッジ ループは、複数の Workgroup Bridge が同じリモート ハブに接続されている場合にも発生することがあります。このブリッジ ループを防ぐためには、リモート ハブには常に 1 台の Workgroup Bridge だけを接続してください。

Q. Staleout 時間設定の用途を教えてください。

A. Workgroup Bridge の管理システムには、[Configuration] > [Ethernet] ページに有線 LAN の staleout 時間設定が含まれています。この設定は、デバイスが非アクティブの場合に Workgroup Bridge がアソシエーション テーブルのデバイスを追跡し続ける秒数を制御するときに使用します。5 ~ 1000 秒の値を入力します。5 分の場合は 300 秒、10 分の場合は 600 秒です。

同じデバイスが常に Workgroup Bridge に接続している場合は、staleout 時間設定には 5 を入力します。Workgroup Bridge に接続するデバイスが頻繁に変わる場合は、staleout 時間設定には 300 (5 分) を入力します。Workgroup Bridge からイーサネット ケーブルを切断し、再接続すると、Workgroup Bridge はアソシエーション テーブルからすべてのデバイスを削除し、staleout の時間設定に関係なく、再学習します。

Q. 350 シリーズの WGB にはどのようなアンテナ オプションがありますか。

A. ブリッジでは、2 つのアンテナ構成が可能です。キャプチャされたアンテナ 1 基、またはユーザが 1 基または 2 基のアンテナを接続できるリバース TNC アンテナ コネクタ 2 基です。

Q. WGB350 の電源仕様を教えてください。

A. WGB 350 の DC 電源は +5 V、1.25 A です。実際の電流は 600 mA です。最大および最小範

囲は 5 V または 4.8 ~ 5.2 V DC と非常に近い数値です。

また、350 シリーズ WGB は、インライン パワーをサポートしていません。直接電力のみサポートします。WGB の背面パネルの WGB350 電源ポートに直接終端する電源アダプタを使って電源を入れます。電源アダプタ モデルは 100-120V ~ 1.0A/50-60 Hz、出力は +5V ~ 1.25A です。

Q. アクセス ポイントに関連付けられた Workgroup Bridge にアクセスできません。これは、なぜですか。

A. Workgroup Bridge (WGB34x または WGB352) をアクセス ポイントに関連付けると、WGB のコンソール メニューにアクセスしたり、アクセス ポイントのイーサネット ポートに接続されている有線 LAN 上のステーションから ping で WGB 接続の確認を行うことができなくなります。ただし、WGB 上のイーサネット ポートに接続されているクライアント デバイスと WGB に関連付けられているアクセス ポートに関連付けられたクライアント デバイスからは WGB にアクセスできます。アクセス ポイントと WGB 間の無線トラフィックは影響を受けません。

Q. 350 WGB ではどのような変調方式がサポートされていますか。

A. 350 WGB では、次の異なる変調方式がサポートされています。

- DBPSK @1 Mbps 差動 2 位相偏移変調 (DBPSK) は、IEEE 802.11 準拠のワイヤレス LAN で 1 Mbps の伝送速度で使用される変調方式です。
- DQPSK @2 Mbps 差動 4 位相偏移変調 (DQPSK) は、IEEE 802.11 準拠のワイヤレス LAN で 2 Mbps の伝送速度で使用される変調方式です。
- CCK @ 5.5 および 11 Mbps 相補コード キー入力 (CCK) は、IEEE 802.11 準拠のワイヤレス LAN で 5.5 Mbps および 11 Mbps の伝送速度で使用される変調方式です。

Q. 350 シリーズの WGB でカバーされている一般的な通信範囲はどの程度ですか。

A. 屋内または屋外のどちらで使用するか、使用されているデータ レートによって異なります。

屋内 :

- 11 Mbps 時 40 m (130 フィート)
- 1 Mbps 時 107 m (350 フィート)

屋外 :

- 11 Mbps 時 244 m (800 フィート)
- 1 Mbps 時 610 m (2000 フィート)

Q. WGB ではどのようなリモート設定オプションがサポートされていますか。

A. リモート ロケーションから WGB を設定するには、次のオプションのいずれかを実行してください。

- Telnet
- HTTP
- FTP
- TFTP

- SNMP

Q. AP1200 を WGB として使用しています。AP 上の 2 基のアンテナを WGB モードで動作させることはできますか。

A. アクセス ポイントに 2 つの無線がある場合は、2.4 GHz 無線または 5 GHz 無線を Workgroup Bridge モードで機能させることができます。1 つの無線インターフェイスを Workgroup Bridge として設定すると、他の無線インターフェイスは自動的に無効になります。

Q. AP を WGB として設定して、信号受信に基づいて親アクセス ポイントとの間で動的にスイッチを切り替える方法を教えてください。

A. モバイルステーションとして Workgroup Bridge を設定するには、次のコマンドを使用してください。

```
ap(config)#mobile station
```

この設定を有効にすると、受信信号強度インジケータ (RSSI) の数値が低い、電波干渉が多い、またはフレーム損失率が高いことが検出された場合に、Workgroup Bridge は新しい親アソシエーションをスキャンします。これらの基準を使用して、モバイルステーションとして設定された Workgroup Bridge は、新しい親アソシエーションを検索し、現在のアソシエーションが失われる前に新しい親にローミングします。モバイルステーションの設定が無効の場合 (デフォルトの設定)、Workgroup Bridge は現在のアソシエーションを失った後で新しいアソシエーションを検索します。

詳細については、「[Workgroup Bridge のローミング設定](#)」を参照してください。

Q. 関連付けを試みるために WGB で設定できるアクセス ポイントの最大数を教えてください。

A. 最大 4 つの親アクセス ポイントの MAC アドレスを入力できます。Workgroup Bridge は、まず MAC アドレス 1 との関連付けを試みます。そのアクセス ポイントが応答しない場合、Workgroup Bridge は親リストの次のアクセス ポイントを順次試みます。ただし、WGB は、一度に 1 つの AP としか関連付けることはできません。この MAC アドレスのリストは、WGB が順番にアソシエーション要求を送信して関連付けを試行できる AP の最大数を示しているにすぎません。

Q. デフォルトでは、AP は WGB をどのように扱いますか。このデフォルトステータスを変更することはできますか。

A. AP は、デフォルトでは WGB をクライアント デバイスとして扱います。Workgroup Bridge をインフラストラクチャ デバイスとして扱うようにアクセス ポイントとブリッジを設定するには、無線インターフェイスの設定コマンドとして `infrastructure-client` コマンドを使用します。Workgroup Bridge がインフラストラクチャ デバイスとして扱われる場合、アクセス ポイントは Address Resolution Protocol (ARP) パケットなどのマルチキャスト パケットを、確実に Workgroup Bridge に配信します。Workgroup Bridge をクライアント デバイスとして扱うようにアクセス ポイントとブリッジを設定すると、より多くの Workgroup Bridge を同じ AP に関連付けることができますが、同時に、マルチキャスト パケット配信の信頼性が低下する可能性があります。信頼性が低くなると、アクセス ポイントはマルチキャスト パケットが目的の Workgroup

Bridge に到達したかどうかを確認できなくなるため、アクセスポイントのカバレッジ領域の端にある Workgroup Bridge では IP 接続が失われる可能性があります。

Q. 1 台の AP に WGB を何台関連付けることができますか。

A. AP が WGB をクライアント デバイスとして扱う場合 (デフォルトの動作)、最小 20 台の WGB を AP に関連付けることができます。

Q. Workgroup Bridge の上面にある LED は何を意味していますか。

A. 「[上部パネルのインジケータのチェック](#)」を参照してください。

Q. Workgroup Bridge にエンド デバイスを接続するにはどのようなイーサネット ケーブルを使用する必要がありますか。

A. ケーブルのタイプは、接続するデバイスのタイプによって異なります。Workgroup Bridge のイーサネット ポートは内部的に交差しないので、もう一方のエンド デバイスと同じガイドラインを使用してください。ハブやスイッチに対してストレート ケーブル、別のエンド デバイスに対してはクロスケーブルを使用します。

```
ap(config)#mobile station
```

Q. Workgroup Bridge が関連付けられているかどうかは、どのようにしてわかりますか。

A. Workgroup Bridge が関連付けられているかどうかを調べるには、3 つの方法があります。

1. 上部パネルのシステム LED を確認します。緑色に点灯している場合、Workgroup Bridge は関連付けられています。
2. Workgroup Bridge に Telnet で接続します。メニューから [Main] > [Association] > [Display] の順に選択します。
3. アクセスポイント (AP) または AP モードのブリッジのアソシエーション テーブルで Workgroup Bridge が [Repeaters] の下に表示されているかどうかをチェックします。

Q. WGB は、高速セキュア ローミングをサポートしていますか。

A. Workgroup Bridge デバイスは、高速セキュア ローミングをサポートしません。これは、高速セキュア ローミングでは CCKM をサポートしている必要がありますが、WGB デバイスではサポートできないためです。WGB モードで動作する 1300 シリーズの Wireless Bridge は高速セキュア ローミングをサポートしています。

Q. WGB は、複数の VLAN をサポートしていますか。

A. いいえ。Cisco WGB デバイスは複数の VLAN をサポートしません。ただし、WGB モードで動作する 1100 AP は、次の制約付きで複数の VLAN をサポートします。

- VLAN はルート AP と WGB 側の両方で割り当てる必要があります。
- WGB は dot1Q 対応スイッチに接続する必要があります。

- インフラストラクチャ SSID を、ルートと WGB のネイティブ VLAN にマッピングする必要があります。注: WGB はインフラストラクチャ SSID で関連付けられます。

この設定では、WGB (WGB の BVI インターフェイス) をネイティブ VLAN として関連付け、異なる (非ネイティブ) VLAN に関連付けられた dot1q のスイッチの背後で有線クライアントを設定することができます。

Q. VLAN のランキングは、Workgroup Bridge を介してサポートされますか。

A. Workgroup Bridge の役割は、有線クライアントにワイヤレス バックボーンを拡張することです。WGB を使用する場合、有線クライアントを複数の VLAN に置くことはできません。有線ネットワークをワイヤレスで別のサイトに拡張するには、ルート/非ルートブリッジが使用されます。ルート/非ルートブリッジは複数の VLAN を処理できます。

WGB はインフラストラクチャ モードで動作している場合は VLAN をサポートします。問題はインフラストラクチャ モードがルート AP で設定されていることです (インターフェイス コマンドの infrastructure-client)。インフラストラクチャ クライアントは LWAPP で使用できないため、WGB を LWAPP AP に関連付けると、VLAN は WGB でサポートされません。

Q. Lightweight Access Point Protocol (LWAPP) 環境で Workgroup Bridge として使用できる方法がありますか。

A. WGB モードで動作する Cisco Aironet 自動アクセスポイントを Cisco Aironet Lightweight アクセスポイント (Cisco Airespace AP1000 シリーズ アクセスポイントを除く) に関連付けて、有線デバイスに 802.11 ワイヤレス接続を提供できるようになりました。WGB はクライアントモードでのみサポートされ、インフラストラクチャ モードではサポートされません。また、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(3g)JA 以降 (32 MB アクセスポイント上) または Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(8)JEB 以降 (16 MB アクセスポイント上) を実行する必要があります。ハイブリッド REAP での WGB 機能の使用はサポートされません。

関連情報

- [Cisco のワイヤレス LAN テクノロジー サポート](#)
- [シスコのワイヤレス製品に関する文書](#)
- [ファームウェア リリース 8.89 を実行している Cisco Aironet 350 シリーズ Workgroup Bridge のリリース ノート](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ Workgroup Bridge クイック スタート ガイド](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ Workgroup Bridge ハードウェア インストール ガイド](#)
- [1300 シリーズ Wireless Bridge 用リピータ、スタンバイ アクセスポイントおよび Workgroup Bridge モードの設定](#)
- [Cisco Aironet アクセスポイント用リピータ、スタンバイ アクセスポイントおよび Workgroup Bridge モードの設定](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)